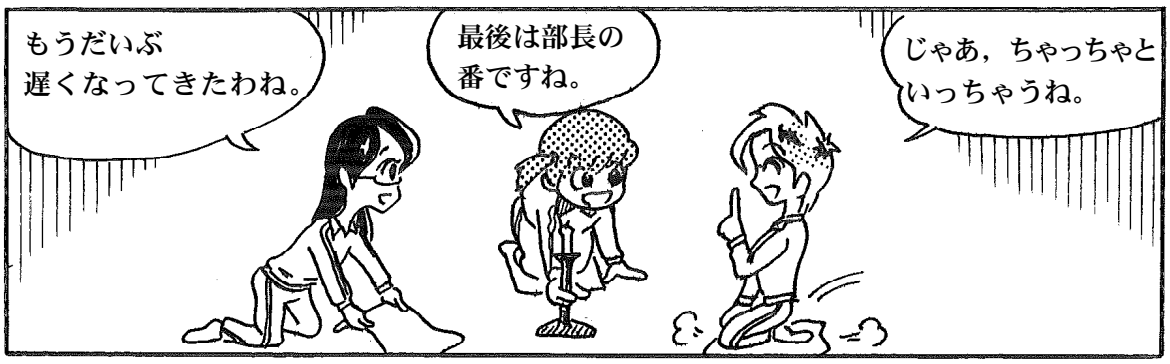
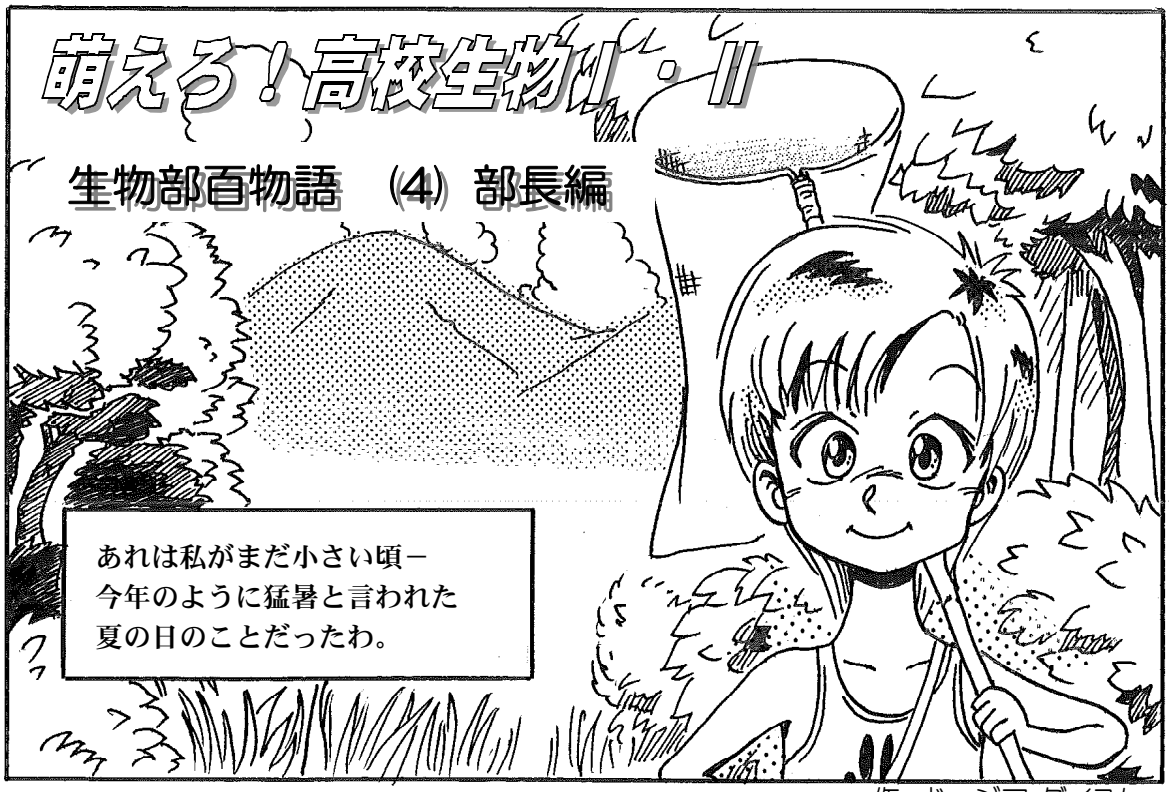
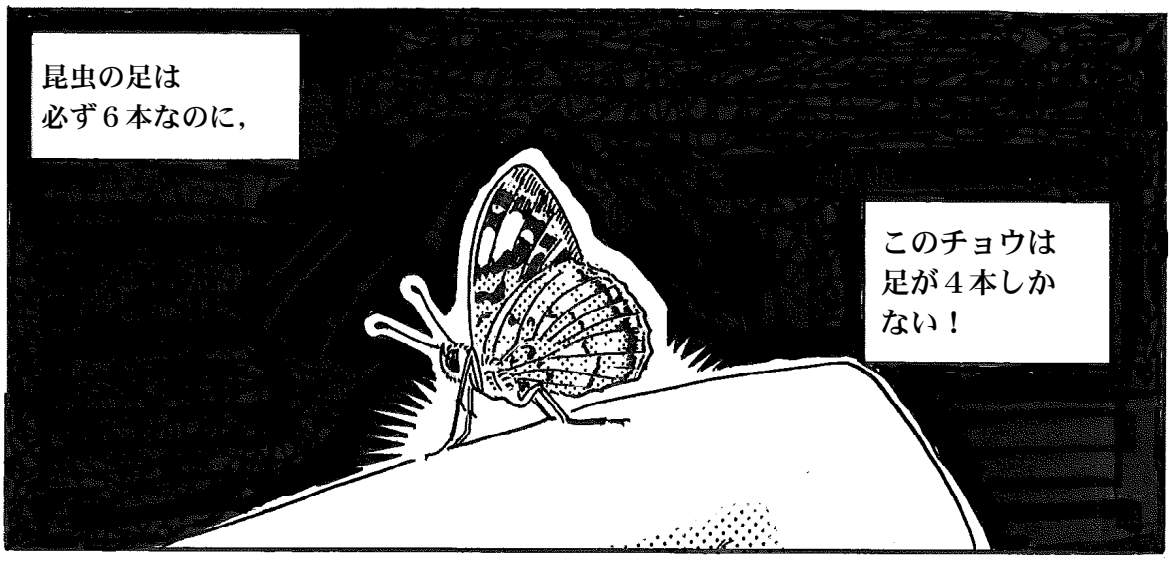

もうだいぶ
遅くなってきたわね。
最後は部長の
番ですね。
じゃあ，ちゃっちゃと
いっちゃうね。


萌えろ！高校生物Ⅱ・Ⅱ
生物部百物語　(4) 部長編
あれは私がまだ小さい頃－
今年のように猛暑と言われた
夏の日のことだったわ。

作　ドージマ・ダイスケ

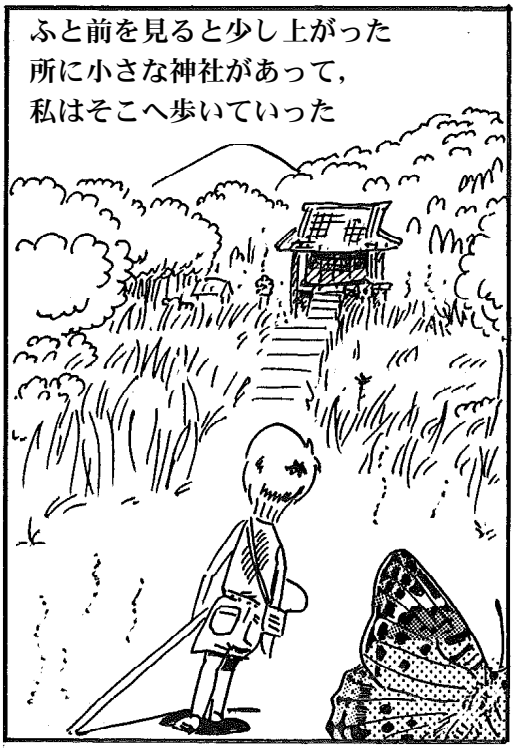
夏休みでいなかのおばあちゃん家に
泊まっていた私は，いとこや地元の子
たちと山や川で遊びまくってた。

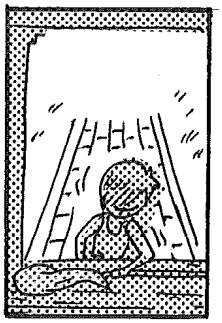
セミにクワガタ，
カミキリムシにカブトムシ，
カラスアゲハにオニヤンマ
…
山に入ると数えきれないくらいいろんな虫がいて，すっごく楽しかった。
猛烈に走り回ったので地元の子たちがふだん回ってる虫取りの穴場は半日で見終わっちゃって
おーい
私は山の上のほう上のほうへと上っていったのね
いつの間にか１人になっていた私は，気がつくと森の開けた所に着いていて，しばらくすると
私の腕に１匹（１頭）のチョウがとまったの。
チョウが私のことを友達と思って来てくれたみたいで
思わずうれしくなったんだけど
次の瞬間，変だと気付いたの。

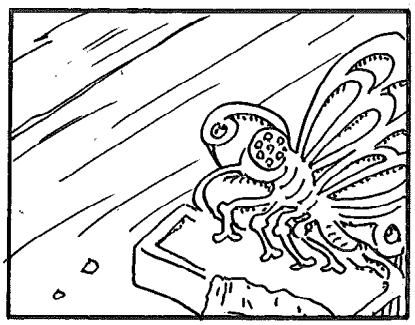

昆虫の足は
必ず６本なのに，
このチョウは
足が４本しか
ない！

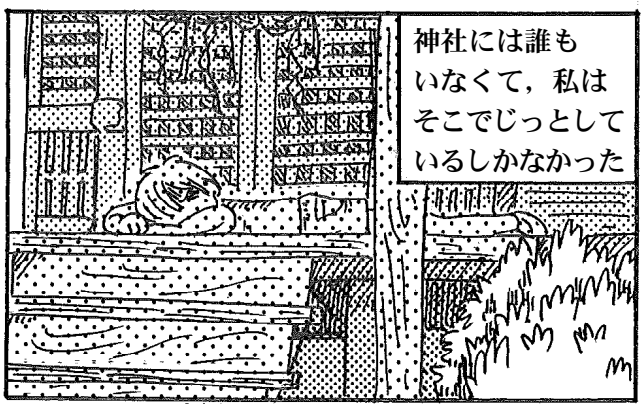
「これは新種?!
大発見かも ?!」
そう思って虫取
り網を構えた時
?!

急に頭の中が
気持ち悪く，
体がすごく
だるくなって
きたの


ふと前を見ると少し上がった
所に小さな神社があって，
私はそこへ歩いていった



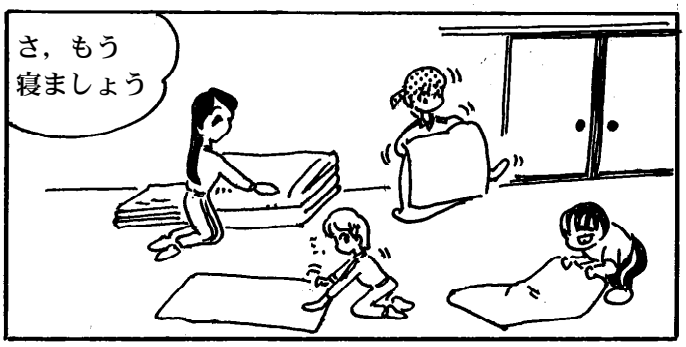
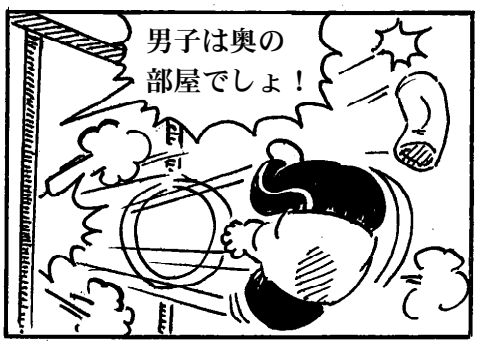
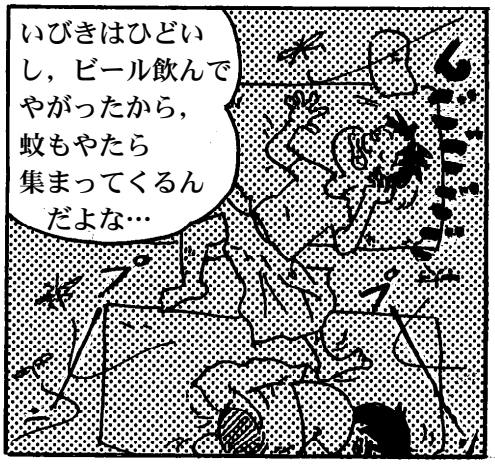



神社には誰も
いなくて，私は
そこでじっとして
いるしかなかった

山の向こう側が見えるなぁ…ああ，海近いんだ何だろあの大きな変わった建物…
夕方になってようやく発見された私は背負われて山を下り，
そのまま39度の熱を出して寝込んでしまったの
こんなこと生まれて初めてだったから本当に死んじゃうんじゃないかと怖くて…
そして翌朝―
死んじゃったんですか？！
熱は引いたの。だけど首から肩にかけて水ぶくれがびっしりできるし，体が熱くて水ばっかり飲んでたわ
生きてるでしょ
テラゲンパツ?!
その後，秋にかけて抜け毛は多いわ，頭皮や顔手足の皮がボロボロむけるわでさんざんだった。
その後おばあちゃん家が街中に引っ越して，夏にその村に行くこともなくなり，私もその夏に起こったことを思い出さなくなっていったんだけど
数年後，調べ物してるとき偶然わかったの！

タテハチョウの
なかまって，前足が
退化していて
4本が当たり前
だったのよね〜。
実は。

熱出して倒れたのも
要は日射病，ひどい
日焼けと熱中症だったのよ。
帽子もかぶらず水も飲まない
で炎天下走り回ったから。
1994年の猛暑はもう
ハンパじゃなかったし
ね〜

1994年って…
菊ちゃん4歳？

なんでぇ こわくもなんとも
ねーじゃん。
俺の話クソミソに言った
くせに。しょーもな
しょーもな
しょーもな！